

ホウ素欠乏

症状の特徴

- 1) 最初に新葉の葉脈間にクロロシスが確認される（写真22）。
- 2) 新葉は抽出時からよじれて展開するために奇形化し、進行すると新葉の生育停止に至る（写真23）。
- 3) 根は側根の伸長が著しく抑制され、主根の長さも顕著に短くなる（写真24）。

発生しやすい条件

- 1) 土壌pHが高く、ホウ素が不可給化した圃場。
- 2) 土壌乾燥時に発生しやすい。

ホウ素の役割

- 1) ホウ素は細胞壁の形成に関与し、細胞壁の機能、構造保持に不可欠である。そのため欠乏すると組織が堅くもろくなり、亀裂やコルク化の症状が茎や果実に現れることが多い。
- 2) ホウ素は体内移行性が低いいため、その欠乏症状は新葉に現れるのが一般的である。



写真22 新葉の葉脈間にクロロシスを生じる。
（13週目 -B8週目 カレイニヤ）

ホウ素欠乏の症状（その1）



写真23 新葉の抽出時からねじれて展開し、奇形化する。
展開時からクロロシスを生じる。
(左：15週目 -B10週目 カレイニャ、 右：14週目 -B12週目 エッチエス-138)



写真24 根は側根の伸長が著しく阻害される。
(10週目 -B5週目 カレイニャ)

ホウ素欠乏の症状（その2）